

# 平成 25 年度 ポイント研修のお知らせ

(国連水田生物の多様性向上 10 年協賛事業)

水田生物の多様性を活かした有機農業は 1, 2 時間の講習会を聞いただけで成功できるものではありません。その技術的なポイントや作業の手順など実際に現場を見てはじめて身につきます。

有機稲作に初めてチャレンジする方、抑草がうまく行かず悩んでいる方、アイガモや紙マルチで有機稲作を実施してきたが、規模の拡大等で省力な抑草技術を習得したいと考えている方、麦・大豆・油脂作物などを栽培し自給率を改善したいと考えている方、食味や品質を向上させたいと考えている方 是非ご検討下さい。

なお、今年は東電の福島原発事故で放射能汚染が福島・茨城・栃木・宮城・群馬を巻き込み、風評被害で農作物が販売できないという苦境に立たされています。「グリーンオイルプロジェクト」を立ち上げ、除染しながら自給率の低い植物油を生産し、同時にミツバチの救出作戦も行う予定です。栃木会場では、その経過や実際の栽培・飼育のポイントについても講習致します。

記

- 1 研修場所  
**栃木会場** NPO 法人 民間稲作研究所有機農業技術支援センター  
〒329-0526 栃木県河内郡上三川町下神主 233-1 TEL0285-53-1133  
**その他の会場 (予定)** 新潟会場 長野会場・埼玉会場・**広島県**・高知県・滋賀県
- 2 研修経費 **栃木会場** 総額 50,000 円(昼食費を含みます。1泊2日 年間5回、延べ60h)  
**その他の会場** 総額 20,000 円(1日 6時間 年間4回 延べ24時間)
- 3 申込み締め切り 3月20日 各会場とも定員 30名
- 4 申込先 NPO 法人 民間稲作研究所 Fax 0285-53-1133 [メール urata@inasaku.or.tv](mailto:urata@inasaku.or.tv)

## ポイント研修申込書

|            |                                       |         |  |
|------------|---------------------------------------|---------|--|
| ご氏名        |                                       | TEL・fax |  |
| ご住所        |                                       |         |  |
| 緊急連絡先      |                                       |         |  |
| 希望会場       | 1 栃木会場 2 長野会場 3 新潟会場 4 広島会場<br>5 埼玉会場 |         |  |
| 研修内容に関する要望 |                                       |         |  |

Fax 又はメールにてお申し込み下さい。

問合せ・申込み先、 NPO 法人民間稲作研究所  
329-0526 栃木県河内郡上三川町鞘堂 7 2  
TEL/fax 0285-53-1133 [メール urata@inasaku.or.tv](mailto:urata@inasaku.or.tv)  
担当 浦田・稲葉

**【栃木会場の講座概要】**

|             | 開催日           | 時間  | 講 座 内 容   |
|-------------|---------------|---|---|
| 第<br>1<br>回 | 3月28日<br>(木)  | 10:00<br>13:00<br>14:00<br>15:00<br>17:00 | <b>1 グローバルな近代技術・近代化学農業の破綻と有機農業による地産地消</b><br>福島原発放射能汚染と「グリーンオイルプロジェクト」、ネオニコチノイド農薬汚染といのち育む有機稲作<br><b>2 育苗の意義と抑草技術のポイント</b><br><b>3 有機水田の除染と生き物を育む有機水田の圃場整備</b><br>用排水・魚道の除染と整備・ビオトープ兼浄化池の整備・畦畔の整備・アカガエルなどの生態保全 |
|             | 3月29日<br>(金)  | 9:00<br>13:00<br>14:00<br>15:00           | <b>水田生物の多様性を活かした抑草技術ー</b><br>① 水田雑草の種類と発芽生長特性<br>② 早期湛水と2回代かきによる抑草技術<br>③ 菜の花ーイネ、菜の花ー大豆・ひまわりの抑草技術・<br><b>ミツバチの蜂崩壊の原因と救出作戦</b><br>①原因と対策 ②ひまわり播種 ③巣箱設置   |
| 第<br>2<br>回 | 4月18日<br>(木)  | 10:00<br>13:00                            | <b>プール育苗の実際(その2)</b><br>①苗質と播種量・床土・温度管理、・播種作業の実際<br>②置床の準備(その2)、・出芽の準備  |
|             | 4月19日<br>(金)  | 9:00<br>12:00<br>15:00                    | <b>抑草技術(その1)</b><br>①水田生物の多様性を活かした抑草技術のポイント<br>②土壌別・雑草別の耕起作業と砕土・均平作業<br>③1回目代かきのねらいと方法、代かき後の水管理   |
| 第<br>3<br>回 | 5月23日<br>(木)  | 10:00<br>13:00                            | <b>水田の生き物と抑草技術(その2)</b><br>①トロトロ層の形成、イトミミズ・ユスリカ・ミジンコ・緑藻類の発生と抑草効果、養分供給効果<br>②2回目代かきの目的と実際、重要な田植え時期   |
|             | 5月24日<br>(金)  | 9:00<br>15:00                             | <b>田植えの実際と抑草ペレットの役割</b><br>①ポット田植機、マット田植機の構造と操作法<br>②発酵肥料、米ぬか屑大豆等の抑草資材の役割とその作り方・散布法<br><b>なたね・麦跡の育苗技術</b>   |
| 第<br>4<br>回 | 6月20日<br>(木)  | 10:00<br>17:00                            | <b>抑草と初期生育診断・生き物調査・病虫害防除技術</b><br>①抑草効果の診断と対策②生育診断(根と土壌の診断)と追肥用発酵肥料の作成③ <b>有機水田</b> の生き物調査と生物多様性病虫害防除技術   |
|             | 6月21日<br>(金)  | 10:00<br>17:00                            | <b>なたねの収穫・調整・搾油の実際</b><br><b>なたね跡のイネ、大豆、ひまわり栽培の実際</b>   |
| 第<br>5<br>回 | 10月24日<br>(木) | 10:00                                     | <b>収量調査と有機水田の放射能調査と土づくり</b><br>・収量調査・食味・成分・品位検査の実際<br>・放射能測定・土壌診断の実際と土作り  |
|             | 10月25日<br>(金) | 17:00                                     | ・土壌改良資材(モミガラ燻炭の作成法)<br>なたねの播種とひまわりの搾油実習・蜂蜜の採取実習   |
|             |               | 9:00<br>15:00                             | 発酵肥料の考え方・つくり方・麦芽の作り方・地ビール試飲・昼食<br>修了式   |